

総合診療部を経験して

歯科総合診療部を経験して

う蝕学分野 大学院1年 鈴木 裕 希

初めまして、う蝕学分野大学院1年の鈴木裕希です。私は2015年3月に本学を卒業後、1年間総合診療部にて研修をさせていただきました。ここでは、私がこの1年間を通して経験し学んだことをお伝えしたいと思います。

なぜ本学総合診療部を研修先として選択したかということ、自分が担当医として一口腔単位で治療計画を考え、診療したいと思ったことが一番の理由でした。まずこの卒後1年間は専門分野に特化することなく、一般歯科治療の土台となる基礎の部分をしっかり学びたいと考えていました。

しかし卒後研修が始まる前は、総合診療部での研修は学生の臨床実習の延長になってしまうのではないかという不安も正直ありました。でも、いざ診療が始まるとそのような不安はなくなりました。歯科医師免許を取得した以上、担当医として責任感をもって治療しなければならないという自覚が芽生え、患者さんのためによりよい医療を提供していきたいと強く思うようになりました。

私個人の感想として総合診療部の研修で良かった点について紹介したいと思います。

まず1つ目として、ポートフォリオの存在です。自分の診療を振り返り、それに対して指導医の先生方が客観的にフィードバックをして下さることで、自分の至らない点や次の診療の課題を見つけることができました。同じ治療に対しても先生方によって視点が異なり、様々な観点からアドバイスを頂けたことはとても貴重な経験だったと思っています。また診療中に思った少しの疑問に対しても、外来ではもちろんのこと、ポートフォリオを通して先生方は親切に丁寧に教えてください、非常に勉強になりました。

また、2つ目としては研修歯科医の同期がたく

さんいたことです。自分が日々の診療や技工などで悩むことは周りも同じようなことでつまずいていることが多いので、お互いに相談し教え合うことができました。今後の職場において、これほど同期の多い環境は滅多にないと思うので互いに切磋琢磨しながら、研修させて頂いたことは非常に良い経験となりました。研修で出会った同期の先生方とは今後お互いに助け合って歯科医師人生を歩んでいくことと思います。

思い返すとこの1年間は本当にあっという間でしたが、それは日々充実していた証拠だと感じております。この1年間の臨床研修で得られた大きな経験をベースにして、いつまでもここで感じた「初心」を忘れずに精進して参りたいと思います。



歯科総合診療部を経験して

歯科矯正学分野 大学院1年 深 町 直 哉

初めまして。歯科矯正学分野大学院1年目の深町直哉です。私は大阪大学を卒業し、新潟大学歯科総合診療部Aコースにて1年間研修をさせていただきました。

この度は歯科総合診療部での経験について述べる機会を与えてくださりありがとうございます。他大学出身である私から見た新潟大学や新潟大学

を選択した理由や実際に1年間経験させていただいたことについて述べさせていただきます。

まず初めに私が新潟大学歯科総合診療部を選択した理由についてです。私は新潟出身であるため新潟大学がどのような環境で診療しているのかが興味があり、6年生の時に見学会に参加させていただきました。その際に、とてもきれいで設備も充実しており、非常に環境が整備されている施設だと思いました。また、説明会では「診療参加・実践型」というキーワードにとても魅力を感じ、新潟大学歯科総合診療部を研修先として選択させていただきました。

実際に研修が始まると他大学出身である私は、カルテの使い方や器具の場所など診療とは関係のない部分でわからないことが多く非常に戸惑いました。しかし、新潟大学出身である同期や先生方や衛生士さんなどみなさんとても親切であったため、4月末の自身での診療開始のころには馴染むことができました。

「診療参加・実践型」というキーワードの通り、診療では自分自身が担当医となって診療を進めていくため責任感を強く持って取り組むことができました。学生のころに自身で治療を経験する機会が少なかったため、最初の診療ではものすごく緊張しました。しかし、指導医の先生との事前ディスカッションや診療途中での確認など常に指導して下さる先生方がそばにいてくださったので自信を持って診療を行うことができました。また、それだけではなく診療後にポートフォリオを記入し、先生に確認していただくことで自分の診療をすぐに振り返り、的確なアドバイスをいただくことで毎診療ごとに確実にステップアップすることができました。患者さんを担当されているため、一口腔単位について診断から始まり治療計画を立案し、実際に治療を行い、メンテナンスに移行するという一連の流れを経験することができたことはとても勉強になりました。

新潟大学出身である方々はこの環境が当たり前

だと感じるかもしれませんが、他大学出身である私からすればこんなに環境の整っている施設は他にないと思います。まず、学生の時から患者さんが担当され一口腔単位で担当医として診療に携われることが驚きでした。また、自身のスキルアップのための模型実習やいつでもバックアップして下さる心強い各専門分野の先生方の存在など研修において確実にスキルアップできる環境が用意されていると感じました。

最後となりましたが、私は新潟大学歯科総合診療部で研修することができ本当に良かったと思います。診療での技術の向上だけでなく、患者さん1人1人としっかり向き合い話を聞き、信頼関係を築くことなど大切なことを学ぶことができ、かけがえのない経験となりました。歯科医師のスタートである研修医は今後の歯科医師の基盤となっていきます。その基盤をこのような素晴らしい施設で築くことができたことに感謝し、また今後歯科医師として初心を忘れることなく、日々精進していきたいと思っています。

